

地方で働く魅力紹介

宮城県の 病院薬剤師



このパンフレットでは、宮城県の地方の病院で働く薬剤師6名にご協力いただき、病院勤務の薬剤師が、日頃どのような業務に組み、どんな”やりがい”を感じているのか、そして普段の生活の様子なども併せて伺い、『パンフレット』と生の声を収めた『メッセージ映像』にまとめました。

これからの働き方や進路の参考のために、ぜひ地方で働く「宮城県の病院薬剤師」の話を聞いてみてください。動画は、このパンフレットの中にあるQRコードからご覧いただけます。

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

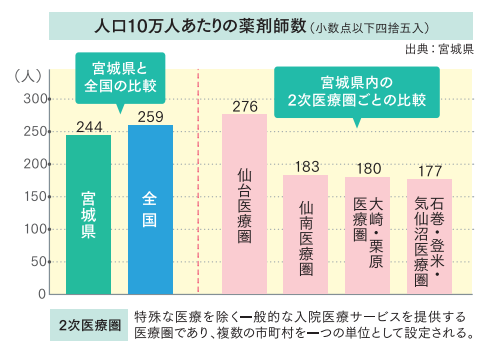


Photo / イメージ

地域医療を支える 薬剤師不足の現状

宮城県では「薬剤師の絶対数の不足」と「薬剤師の偏在」が大きな課題となっています。令和4年における宮城県と全国の人口10万人あたりの薬剤師数を比較すると、全国平均259.1人に対し、宮城県では244.3人と10人以上下まわっています。

さらに、宮城県の中でも仙台医療圏は275.5人と高い水準なのに対し、他の医療圏では大きく下回り、都市部に薬剤師が集中する傾向が続いています。こうした絶対数の不足と偏在を解消し、地域医療を支え未来を担う、若手薬剤師の活躍に大きな期待が寄せられています。



企画・制作連絡先

宮城県保健福祉部薬務課

〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8番1号
TEL: 022-211-2652 FAX: 022-211-2490
MAIL: yakumu-y@pref.miyagi.lg.jp



取材協力

一般社団法人 宮城県病院薬剤師会

老年人口(高齢者人口) ÷ 総人口 × 100 = 老年人口割合

2010年、日本ではどの国よりも早く超高齢社会へと突入しました。宮城県における高齢化率は29.5%、県内の7割以上の市町で30%を超えています(令和6年宮城県調べ)。この高齢人口の急速な増加にともない、特に医療、福祉などの分野では高齢人口の問題に対応することが、喫緊の課題となっています。人口の比率が変わると、疾病構造の変化や、要介護者の数も急増します。在宅医療が推進されている状況下では、地域における人口の減少、過疎の進行もこれらの問題をより深刻なものにしています。

超高齢社会を支え、
乗り切る志と使命感



Photo / イメージ



Photo / イメージ

ますます広がる、
薬剤師の活躍の場

今後一層需要が高まる在宅ケア(医療)においてのチーム医療、OTC医薬品や医療・衛生材料の選定や健康相談などセルフメディケーションの推進、予防医療への積極的な取り組みなど、薬剤師が必要とされ活躍する場は、ますます広がっています。

自らの質の高い人生のためにも、皆さまが医療人の一員として、志と使命感を持って、この「みやぎの地」で羽ばたかれることを、宮城県と宮城県病院薬剤師会は応援しています。

栗原エリア / 栗原市築館

03

【勤務先】栗原中央病院
田中 健人さん（薬剤師歴5年・山梨県出身）

コミュニケーションを大切にすることで
助けあいのチーム医療が円滑に…

化学療法では、医師とはもちろん看護師や栄養士とも密なコミュニケーションが重要です。スタッフ間の連携も円滑になり、仕事の質も上がります。他職種と関わるなかで、活躍の幅がますます広がる病院薬剤師の仕事では、毎日のように成長や達成感を得られます。



「田中さんのお話は、このQRコードから動画で!!」



[令和4年当時]

栗原エリアのオススメ 栗駒山、伊豆沼・内沼(ハスの花)、もち料理

登米エリア / 登米市佐沼

02

【勤務先】登米市民病院
佐藤 雄平さん（薬剤師歴9年・宮城県登米市出身）

患者さんの言葉にはたくさんのヒントが…
「聞く力」を大切にしています

他職種とのコミュニケーションに苦労することもあります。担当する患者さんが笑顔で退院する姿を見た時には、大きなやりがいを感じます。患者さんに寄り添い傾聴することで、些細なサインに隠された重要な情報を聞き逃さないように心掛けています。



「佐藤さんのお話は、このQRコードから動画で!!」



[令和4年当時]

登米エリアのオススメ 長沼フートピア公園、東和町のホテル、三滝堂ふれあい公園

気仙沼エリア / 気仙沼市赤岩

01

【勤務先】気仙沼市立病院
及川 大地さん（薬剤師歴6年・宮城県気仙沼市出身）

ベッドサイドで患者さんに寄り添う…
病院薬剤師の活躍の場は、薬剤部の外に!

難しい症例の薬物療法では、薬剤師選択に悩むこともありますが、患者さんの状態改善につながり感謝の言葉をいただくと、その苦勞も報われとても嬉しいです。病院薬剤師は、薬剤部の外に出て、患者さんや他職種と話し、幅広い知識を身につけることが大切です。



「及川さんのお話は、このQRコードから動画で!!」



[令和4年当時]

気仙沼エリアのオススメ 大島、徳仙丈山(ツツジ)、岩井崎の潮吹岩、海鮮

宮城県のエリアマップ

宮城県の地方で働く
病院薬剤師の

じもと自慢 & おしごと紹介

※薬剤師歴については、取材時点(2022年8月)の年数です。
※観光スポットなどの写真提供: 宮城県観光プロモーション推進室
※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

大崎エリア / 大崎市古川

04

【勤務先】大崎市民病院
佐藤 理一郎さん（薬剤師歴7年・宮城県加美町出身）

病院薬剤師は、他職種との連携が重要
笑顔で、お互い気持ち良さをモットーに!

地元であり身近に感じていた病院へ就職しました。患者さんの訴えを聞き、医師などと共有し、その結果処方された薬で患者さんの状態改善につながった時には、充実感が得られます。忙しい時でも、全員が気持ち良く仕事ができるように、笑顔で対応しています。



「佐藤さんのお話は、このQRコードから動画で!!」



[令和4年当時]

大崎エリアのオススメ 吹上高原キャンプ場、鳴子温泉、オニコウベスキー場、三本木ひまわりの丘

仙南エリア / 川崎町大内

05

【勤務先】川崎こころ病院
植松 拓也さん（薬剤師歴8年・山梨県出身）

精神科の治療は薬物療法が中心となり得る
だから、薬剤師にとって大きな“やりがい”となる

小さな錠剤が体の不調に効くことに興味を持ち、薬剤師を目指しました。日々、精神科特有のコミュニケーションに難しさを感じながらも、治療の基本となる薬物療法に積極的に介入しています。精神科は、これからの薬剤師が活躍できる場であり、大きなやりがいがあります。



「植松さんのお話は、このQRコードから動画で!!」



[令和4年当時]

仙南エリアのオススメ みちのく杜の湖畔公園、釜房湖、白石川(一目千本桜)

石巻エリア / 東松島市赤井

06

【勤務先】仙石病院
高橋 卓さん（薬剤師歴2年・宮城県石巻市出身）

地方の病院は、多くの経験ができる!
スキルアップにもつながる魅力的な職場です

東日本大震災の翌日から薬剤師の父が奔走する姿を見て、薬剤師の重要性を認識し、自分も同じ道を目指しました。地方の病院薬剤師は業務が多岐にわたり大変に感じることもありますが、その分だけ自身のスキルアップにもつながる多くのチャンスがあります。



「高橋さんのお話は、このQRコードから動画で!!」



[令和4年当時]

石巻エリアのオススメ いしのまき元気いちば(魚のアラ出汁ラーメン)、海鮮、ブルーインパルス